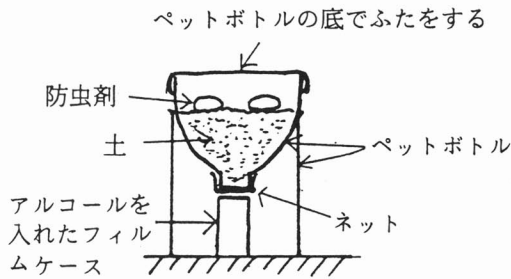


〈簡易ツルグレン装置〉



(4) 検証授業 2

① 本時の指導のポイント

- ア 一人一人の学習の成果の場として、自分の観察結果を掲示板にはらせる。
- イ 掲示された結果を自由に見ながら、土の中の小さな動物のはたらきについて考察させる。
- ウ 考察してわかったことを一人一人に発表させる。
- エ 自分の考察→情報交換→考察の修正→発表という流れを途切れさせないために2時限続きの授業を構成する。

② 学習過程

段階	学習内容・活動	仮説との関連
確認	1 学習課題を確認する。 (1) 実験の目的の確認 (2) 結果のレポートの確認	
考	2 実験結果を提示する。 (1) 「3年5組が調べた土の中の小さな動物」を完成する。 (2) 「本宮の土の中の小さな動物」を完成する。	・ 掲示により、自分の実験結果を発表させ、自分たちが調べたという達成感を味わわせるとともに考察への意欲づけを図る。
	3 実験の結果を考察する。 (1) 2つの掲示を見てわかったことをまとめる。 (2) 土の中の小さな動物のはたらきをまとめる。	・ 掲示を互いに見ながら考察することにより、学級内での情報の共有化を図る。
察	4 考察した結果の情報交換をする。 (1) 理科室内を自由に移動して、考察内容について意見を交換する。	・ 自分の考えと級友の考えを照らし合わせることで、修正や補足をし、自信を持って発表できるようにする。
まとめ	5 考察を発表し、まとめる。 (1) 一人一人自分の考察内容を口頭で発表する。 (2) 発表を聞きながら、学習課題についてわかったことをまとめる。 (3) 土の中の小さな動物について全体でまとめる。 (4) 次時の内容の予告を聞く。	

2 検証の観点

- (1) 学習意欲の高まりについて、生徒の自己評価、生徒のノートの記録からとらえる。
- (2) 自信を持って発表できたかどうかについては、生徒の意識調査の変容や生徒の授業記録からとらえる。

3 生徒の活動

(1) 簡易ツルグレン装置による実験



(2) 掲示されたものを見ながら情報交換



(3) 互いに考察した内容を情報交換

